

受賞者 概要

経済産業大臣表彰

【功労賞（組合役員等）】

○大勝 敬文（おおかつ よしふみ）氏

現 職：「高知県手すき和紙協同組合」理事長

手すき和紙製造業

主な功績：・平成16年から、需要の開拓及び組合員の販売需要の確保に尽力し、最近の事例として、平成27年度から令和元年度まで東京都にて土佐和紙の展示販売会を開催、平成28年度に図書館総合展に出展した。

・平成16年から、就業希望者を対象とする後継者育成プログラムの作成に取り組むとともに、研修環境の整備に係る支援や研修による技術力検査などを実施している。

・全国で2軒ほどしか手で漉くことがない胴貼紙を漉くことができる技術者であり、大勝氏の製作した胴貼紙は、金閣寺等の国の重要な建造物の修復にも多数利用されている。

受賞歴：・平成13年10月 土佐の匠（知事による認定制度）

・平成23年 1月 高知県中小企業団体中央会会長表彰（組合功労者）

・平成23年11月 高知県産業技術功労表彰（商工業部門）

・平成28年 1月 高知県中小企業団体中央会創立60周年高知県知事表彰（組合功労者）

・平成28年11月 高知県功労者表彰（商工業関係）

・令和 3年11月 伝統的工芸品産業功労者等四国経済産業局長賞（功労賞）

【功労賞（伝統工芸士）】

○長尾 伊太郎（ながお いたろう）氏

現 職：「阿波しじら織協同組合」理事長

長尾織布合名会社 代表社員

主な功績：・一昨年のコロナ禍においては「阿波しじら織マスク」を考案し、EC販売等により国内での認知度向上や普及活動に繋げている。

・30年程前から観光客や地域のこども達向けに自社工場内での藍染体験や工場見学を実施している。

・平成24年から社内にて、技術習得するまでに数年かかる織・染・整経の各工程の勉強会を行っており、これからを担う職人の育成に努めている。

・平成26年から5回、「東京インターナショナル・ギフト・ショー」出展、平成27年から5回、繊維総合見本市「ジャパנקリエーション」出展、平成29年、京都文化協会「日本の着物を後世に残す」事業にて、表

参道ヒルズや二条城にて行われた展示会に出展、昭和55年頃から毎年、
伝統工芸青山スクエアでの産地展「阿波正藍しじら織」に出展。

- ・平成28年、京都女子大学デザイン人間工学研究室の教授、生徒と共に商品開発を行い、翌年「ギフト・ショー」に出展している。

受賞歴：・令和 3年 日本ギフト大賞2021 徳島賞
・令和 3年11月 伝統的工芸品産業功労者等四国経済産業局長賞（功労賞）

【奨励賞】

○田村 栄一郎（たむら えいいちろう）氏

現 職：「一般社団法人とくしま伝統産業振興協会」理事

田村商事株式会社 代表取締役

- 主な功績：・平成24年から、地元の小学校、高校、支援学校の生徒に対し、大谷焼の伝統的技術技法の指導等を行っている。
- ・平成19年から、「伝統的工芸品展 WAZA」「テーブルウェア・フェスティバル」等の大消費地での展示会事業を行い、需要の開拓及び消費者との交流に貢献した。
 - ・地域団体商標「大谷焼」登録（令和2年12月24日）に大谷焼陶業協会副会長として会長を補佐し尽力した。

受賞歴：・平成16～21年11月 日本美術展覧会 入選（6回）

- ・平成15、25、28、30年11月 徳島県美術展覧会 特選第1席 県議会議長賞（2回）、徳島市長賞、四国放送社長賞
- ・平成16、21年5月 日本新工芸展 日本新工芸賞、奨励賞
- ・平成16年 2月 第6回そば猪口アート公募展 入選
- ・平成17年 5月 近畿中国四国伝統産業品展 特別企画展 徳島県知事賞
- ・平成20年 4月 国民文化祭 美術工芸部門 国民文化祭実行委員会会長賞
- ・平成25年 7月 田部美術館大賞 茶の湯の造形展 入選
- ・平成27年11月 長三賞 常滑陶芸展 入選
- ・平成28年 4月 有田国際陶磁展 入選
- ・令和 2年11月 全国伝統的工芸品展 入選
- ・令和 3年 2月 テーブルウェアフェスティバル入賞 佳作賞
- ・令和 3年10月 徳島県美術展覧会 準特選
- ・令和 3年11月 伝統的工芸品産業功労者等四国経済産業局長賞（奨励賞）

※修正した点は赤字で記載。